

# 兵庫県下の経済動向

平成25年12月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、持ち直しつつある。個人消費は持ち直しに向けた動きが広がっている。また、住宅投資や公共投資は増加している。一方、設備投資は弱めとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が5か月連続して前年を下回った。

乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車、普通貨物車、小型貨物車および軽貨物車が増加し、バスが減少したものの全体では4か月連続して前年を上回った。

家電販売は、スマートフォン等が引き続き堅調であるものの、薄型テレビが減少傾向にあることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、非製造業が増加を見込んでいるものの、製造業は減少を見込んでおり、25年度も減少計画となっている。

住宅投資は、持家、貸家、分譲が増加し、分譲が減少したが、3か月連続して前年を上回った。

公共工事請負金額は、兵庫県、神戸市、神戸市を除く市町村が増加したことから、7か月連続して前年を上回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出は中国を含むアジア、中国、米国およびEU向けが増加し、9か月連続して前年を上回った。また、輸入については11か月連続して前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月連続して前年を上回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数も前年を上回った。

また、常用労働者数および一人当たり名目賃金は前年と変わらず、所定外労働時間は前年を上回った。

金融情勢は、預金は前年を上回って推移しており、貸出は前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を上回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

9月の兵庫DIは、先行指数85.7%、一致指数72.2%、遅行指数62.5%となった。

9月の兵庫CIは、先行指数81.9、一致指数90.6、遅行指数99.5となった。

兵庫DIは、先行指数が4か月ぶりに50%を上回り、一致指数が2か月ぶりに50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月ぶりに前月差増、一致指数は2か月ぶりに前月差増、遅行指数は8か月ぶりに前月差減となった。

県統計課は基調判断を「緩やかな持ち直しの動きがみられる。」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

10月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は93.5、前月比2.0%増加。出荷指数は90.5、同1.5%増加。在庫指数は133.0、同0.8%増加。在庫率は138.6、同11.4%減少。生産指数は2か月連続して上昇、出荷指数は2か月連続して上昇、在庫指数は2か月連続して上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産は6.4%増で20か月ぶりに上昇、出荷は5.7%増で21か月ぶりに上昇、在庫は2.5%増で10か月ぶりに上昇した。

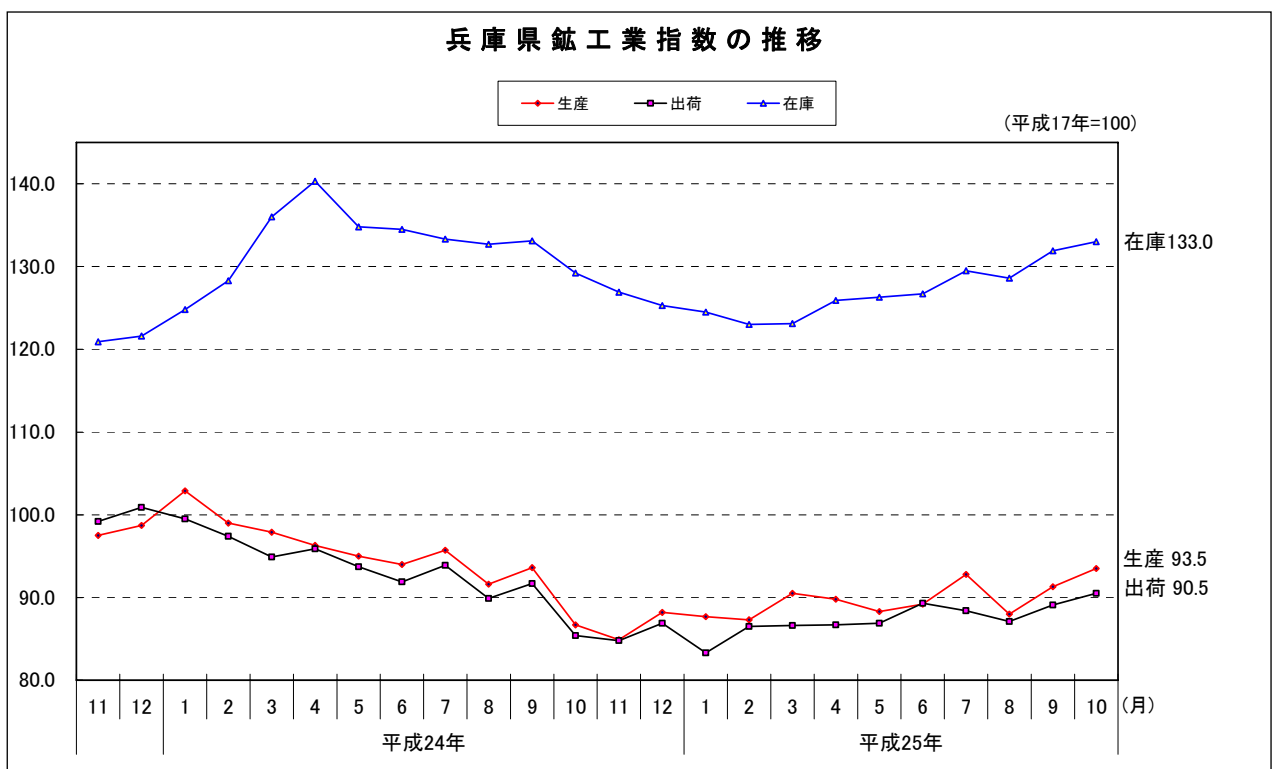
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、駆動伝導・操縦装置部品等の「輸送機械工業」が8.4%、アクティブ型液晶素子(7.7インチ未満)等の「電子デバイス工業」が6.6%、蒸気タービン部品等の「一般機械工業」が5.9%、普通鋼鋼帯等の「鉄鋼業」が3.2%、リチウムイオン蓄電池等の「電気機械工業」が2.4%、ガス風呂がま等の「金属製品工業」が0.9%各々上昇し、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械工業」が19.7%、清酒等の「食料品工業」が8.0%、化粧品等の「化学工業」が4.3%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「緩やかな持ち直しの動きがみられる」とした。

10月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減 (%)
生 産	93.5	2.0	94.4	6.4
出 荷	90.5	1.5	93.1	5.7
在 庫	133.0	0.8	133.7	2.5
在 庫 率	138.6	▲ 11.4	139.4	2.3

資料：兵庫県企画県民部統計課



## 10月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	97.1	3.2	上昇	普通鋼鋼帯、鋼半製品、亜鉛めっき鋼板、普通鋼冷延広幅帯鋼
			低下	特殊鋼熱間圧延鋼材、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、銑鉄、H形鋼
金属製品	85.1	0.9	上昇	ガス風呂がま、石油温水給湯暖房機、ガス湯沸器、PC鋼より線
			低下	ガス温風暖房機、粉末や金製機械材料、橋りょう、鋼管製管継手
一般機械	101.8	5.9	上昇	蒸気タービン部品、水管ボイラ、コンクリート機械、C(W)BN工具
			低下	一般用蒸気タービン、熱交換器、ショベル系掘削機械、プレス用金型
電気機械	138.3	2.4	上昇	リチウムイオン蓄電池、電力変換装置、太陽電池モジュール、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)
			低下	一般用タービン発電機、HIDランプ、一般用エンジン発電機、アルカリ蓄電池
情報通信 機械	77.6	▲ 19.7	上昇	カーナビゲーション、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、固定通信装置、レーダ装置
			低下	パーソナルコンピュータ、携帯電話、搬送装置、テレメータ・テレコントロール
電子部品 デバイス	76.2	6.6	上昇	アクティブ型液晶素子(7.7インチ未満)、電界効果型トランジスタ、シリコントランジスタ(1W未満)、シリコンダイオード
			低下	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、PDPモジュール、混成集積回路、スイッチング電源
輸送機械	80.4	8.4	上昇	駆動伝導・操縦装置部品、船用ディーゼル機関、旅客車、二輪自動車(125ml超)
			低下	ショベルトラック、鋼船、二輪自動車(125ml以下)
化 学	88.6	▲ 4.3	上昇	溶剤系合成樹脂塗料、メタクリル酸エステル(モノマー)、ウレタンフォーム、自動車排気ガス浄化用触媒
			低下	化粧品、ポリスチレン、無水酢酸、医薬品
食 料 品	87.8	▲ 8.0	上昇	ビール類、しょうゆ、パン類、肉製品
			低下	清酒、めん類、精米、冷凍調理食品

資料：兵庫県企画県民部統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた11月の県内百貨店売上高は、前年同月比0.9%減の183億38百万円で、5か月連続して前年実績を下回った。姫路地区はプラスとなったが、神戸地区は1月末に大丸新長田店が閉店した影響などがあり、前年割れとなった。

神戸地区は1.3%減。11月に入って気温が下がったことで、コートなどの冬物衣料品が好調だった。高級時計や宝飾品など高額品は引き続き好調という。

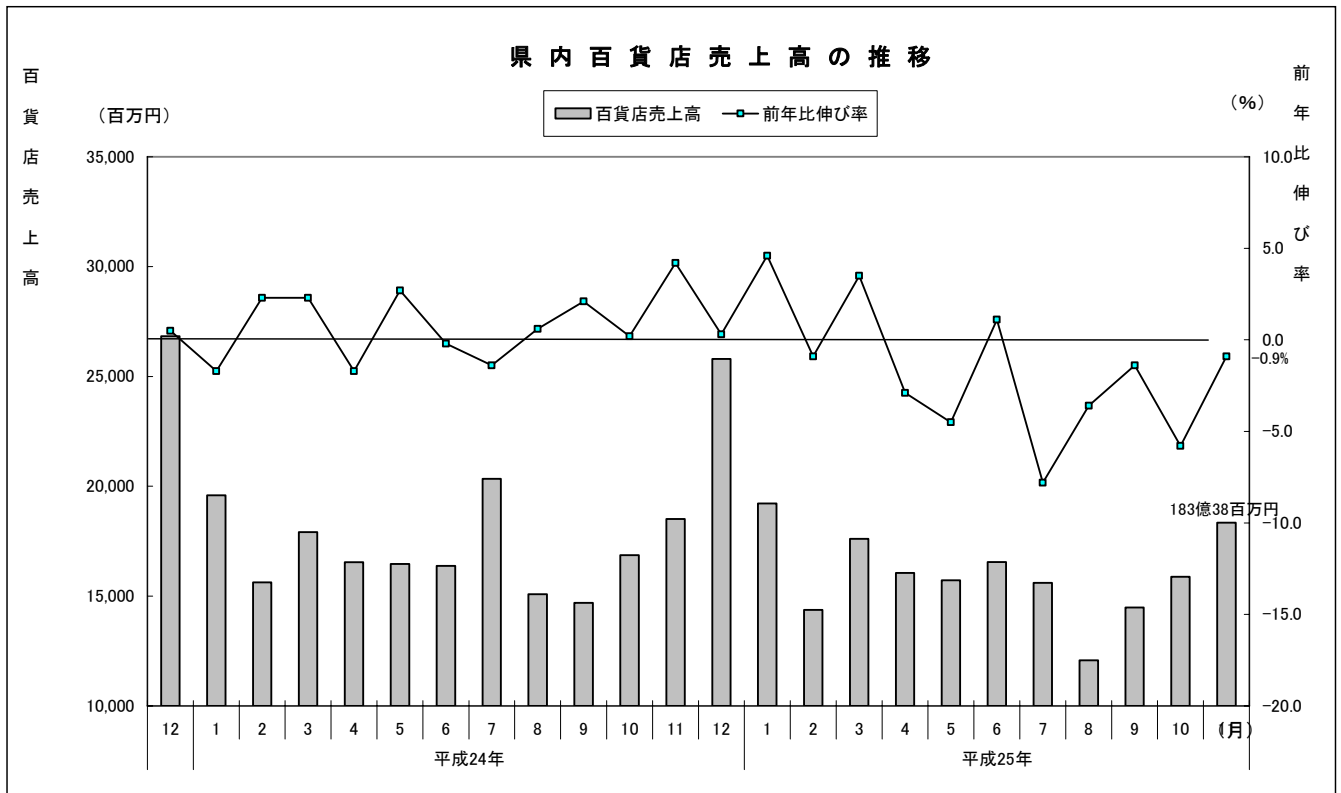
姫路地区は0.9%増で、5か月ぶりに増加。高額品に加え、食品などが売り上げを伸ばした。

### 11月の県内百貨店売上高

品目	地区		
	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	946(▲7.0)	231( 0.4)	1,178(▲5.7)
婦人服・洋品	4,837( 2.7)	776(▲4.7)	5,613( 1.6)
子供服・洋品	348( 0.2)	98(▲0.8)	447(▲0.1)
身の回り品	1,391(▲7.4)	310( 7.2)	1,701(▲5.0)
家庭用品	628(▲5.7)	175( 5.6)	804(▲3.5)
食料品	4,079(▲3.8)	899( 2.2)	4,979(▲2.8)
雑貨	2,180( 2.4)	397(▲2.8)	2,578( 1.6)
その他	722( 0.0)	312(10.0)	975( 2.7)
計	15,136(▲1.3)	3,201( 0.9)	18,338(▲0.9)

\* 単位百万円、百万円未満切捨て。( )内は前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内11月の乗用車新車登録台数は14,661台、前年同月比16.6%増と4か月連続して前年同月の実績を上回った。

11月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,352台(前年同月比19.4%増)、小型乗用車は4,454台(同8.3%増)、軽乗用車は4,855台(同22.0%増)、乗用車合計で14,661台(同16.6%増)となった。

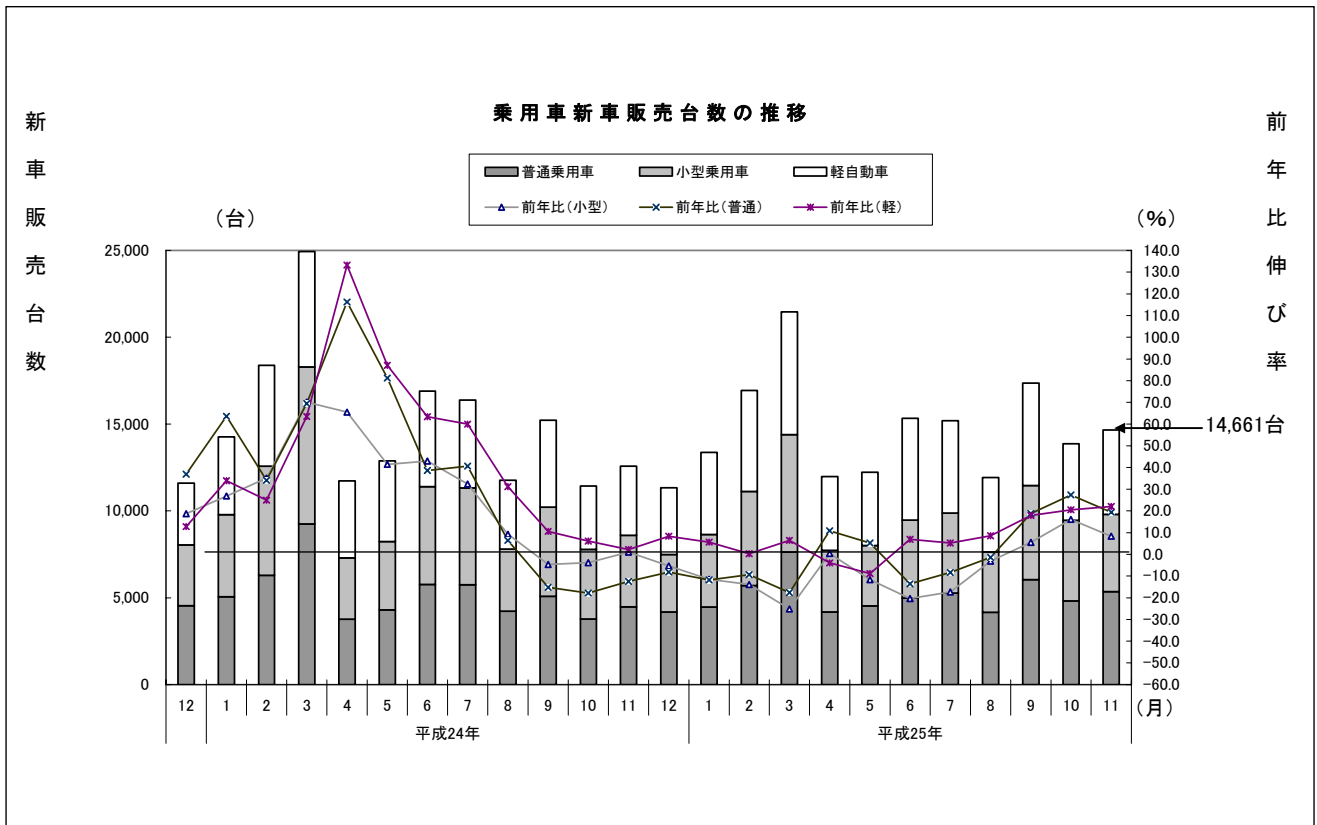
また貨物車等では、普通貨物車は341台(同16.8%増)、小型貨物車620台(同6.7%増)、軽貨物車は1,788台(同8.1%増)、バスは20台(同64.9%減)となった。

### 11月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,352	19.4	119,188	18.4
小型乗用車	4,454	8.3	123,309	9.1
軽乗用車	4,855	14.1	136,071	23.0
<b>乗用車合計</b>	<b>14,661</b>	<b>16.6</b>	<b>378,568</b>	<b>16.7</b>
普通貨物車	341	16.8	12,858	17.5
小型貨物車	620	6.7	20,277	9.4
軽貨物車	1,788	8.1	44,871	14.2
<b>貨物車合計</b>	<b>2,749</b>	<b>8.8</b>	<b>78,006</b>	<b>13.4</b>
バス	20	▲ 64.9	767	4.9
<b>登録車総計</b>	<b>17,430</b>	<b>15.0</b>	<b>457,341</b>	<b>16.1</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が12月11日に発表した機械受注統計によると、平成25年10月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、25年9月前月比13.2%増の後、25年10月は同4.6%減の2兆2,896億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、9月前月比2.1%減の後、10月は同0.6%増の8,072億円となった。

内訳をみると、製造業が同0.2%減の3,338億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同11.5%増の5,095億円であった。

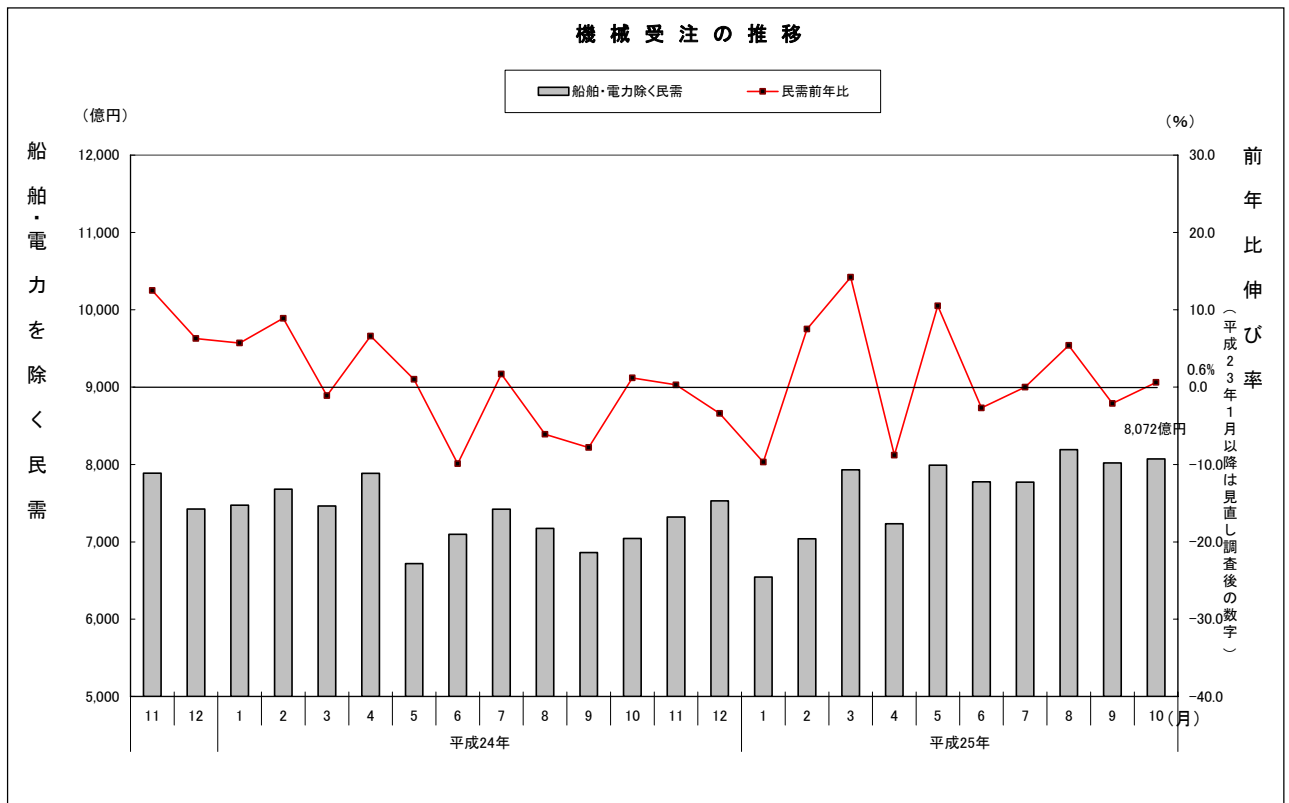
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、造船業(75.5%増)、電気機械(29.2%増)、精密機械(18.8%増)、自動車・同付属品(15.9%増)、化学工業(12.3%増)、鉄鋼業(9.0%増)等の11業種で、石油製品・石炭製品(72.9%減)、情報通信機械(40.7%減)、パルプ・紙・紙加工品(8.4%減)等の4業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、金融・保険業(74.8%増)、建設業(62.5%増)、不動産業(49.7%増)、リース業(40.8%増)、農林漁業(11.4%増)等の9業種で、情報サービス業(9.2%減)、鉱業・採石業・砂利採取業(6.5%減)等の3業種は減少となった。

兵庫県下においては、2013年度設備投資額は、製造業が減少を見込んでいるものの、非製造業は増加を見込んでおり、全産業では減少計画となっている。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2013年9月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比▲3.5% (製造業▲6.6%、非製造業+9.3%)





機械受注統計 (平成25年10月分)

	24年 10~12月 実績	25年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 見通し	25年 7月 実績	8月 実績	9月 実績	10月 実績
受注総額	56379 ( 3.7) [-9.7]	60,410 ( 7.1) [-5.3]	62,406 ( 3.3) [ 4.7]	65,493 ( 4.9) [21.4]	63,878 (-2.5) [ 13.8]	20,291 ( 4.4) [ 5.3]	21,203 ( 4.5) [25.9]	23,999 ( 13.2) [30.3]	22,896 (-4.6) [24.6]
民 需	25,341 (-0.7) [-5.6]	25,477 ( 0.5) [-2.0]	26,754 ( 5.0) [ 2.5]	28,077 ( 4.9) [ 9.9]	26,589 (-5.3) [ 9.4]	9,192 ( 3.4) [ 3.6]	9,483 ( 3.2) [17.2]	9,402 (-0.9) [ 9.7]	10,062 ( 7.0) [20.7]
〃 (Ex 船・電)	21,546 (-0.8) [-0.8]	21,539 (-0.0) [-4.6]	22,999 ( 6.8) [ 6.4]	23,986 ( 4.3) [ 9.6]	23,481 (-2.1) [11.9]	7,772 (-0.0) [ 6.5]	8,193 ( 5.4) [10.3]	8,021 (-2.1) [11.4]	8,072 ( 0.6) [17.8]
製造業	8,550 (-5.3) [-11.1]	8,407 (-1.7) [-12.1]	8,875 ( 5.6) [-4.2]	9,745 ( 9.8) [ 8.2]	9,804 ( 0.6) [18.3]	3,187 ( 4.8) [-2.0]	3,213 ( 0.8) [ 8.7]	3,345 ( 4.1) [17.3]	3,338 (-0.2) [21.9]
非製造業 (Ex 船・電)	13,491 ( 5.6) [ 7.4]	13,072 (-3.1) [ 2.8]	14,701 (12.5) [14.1]	14,102 (-4.1) [10.4]	13,610 (-3.5) [ 7.6]	4,624 ( 0.0) [13.0]	4,911 ( 6.2) [11.6]	4,567 (-0.7) [ 8.0]	5,095 (11.5) [15.1]
官 公 需	6,942 (-3.6) [-1.5]	6,949 ( 0.1) [-6.9]	8,668 (24.7) [ 7.4]	9,413 ( 8.6) [34.0]	8132 (-13.6) [34.8]	2,917 ( 12.9) [23.5]	2,674 (-8.3) [17.1]	3,822 (42.9) [47.9]	2,820 (-26.2) [24.1]
外 需	21,246 ( 3.2) [-16.5]	23,670 (11.4) [-8.8]	24,837 ( 4.9) [ 7.8]	27,548 (10.9) [34.7]	26,199 (-4.9) [14.7]	7,660 ( 1.4) [ 4.4]	9,377 (22.4) [41.8]	10,510 (12.1) [57.4]	8,830 (-16.0) [29.7]
代 理 店	2,648 (-2.6) [-1.8]	3,000 (13.3) [ 4.2]	2,643 (-11.9) [-4.1]	2,852 ( 7.9) [ 4.6]	3,034 ( 6.4) [12.6]	949 (-3.0) [-4.4]	972 ( 2.4) [10.3]	931 (-4.2) [ 9.9]	1,054 (13.2) [21.9]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内10月の新設住宅着工戸数は、総数で3,719戸(前年同月比21.9%増)となり、持家、分譲住宅、貸家が増加し、給与住宅が減少したが、全体では3か月連続して前年を上回った。また、前月比では960戸の増加となった。

### 10月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	1,220	25.6	33,967	17.6
・分譲住宅	1,302	37.8	20,502	▲ 2.7
貸家系・貸家	1,186	5.1	35,059	3.3
・給与住宅	11	57.1	698	97.2
<b>総数</b>	<b>3,719</b>	<b>21.9</b>	<b>90,226</b>	<b>7.1</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

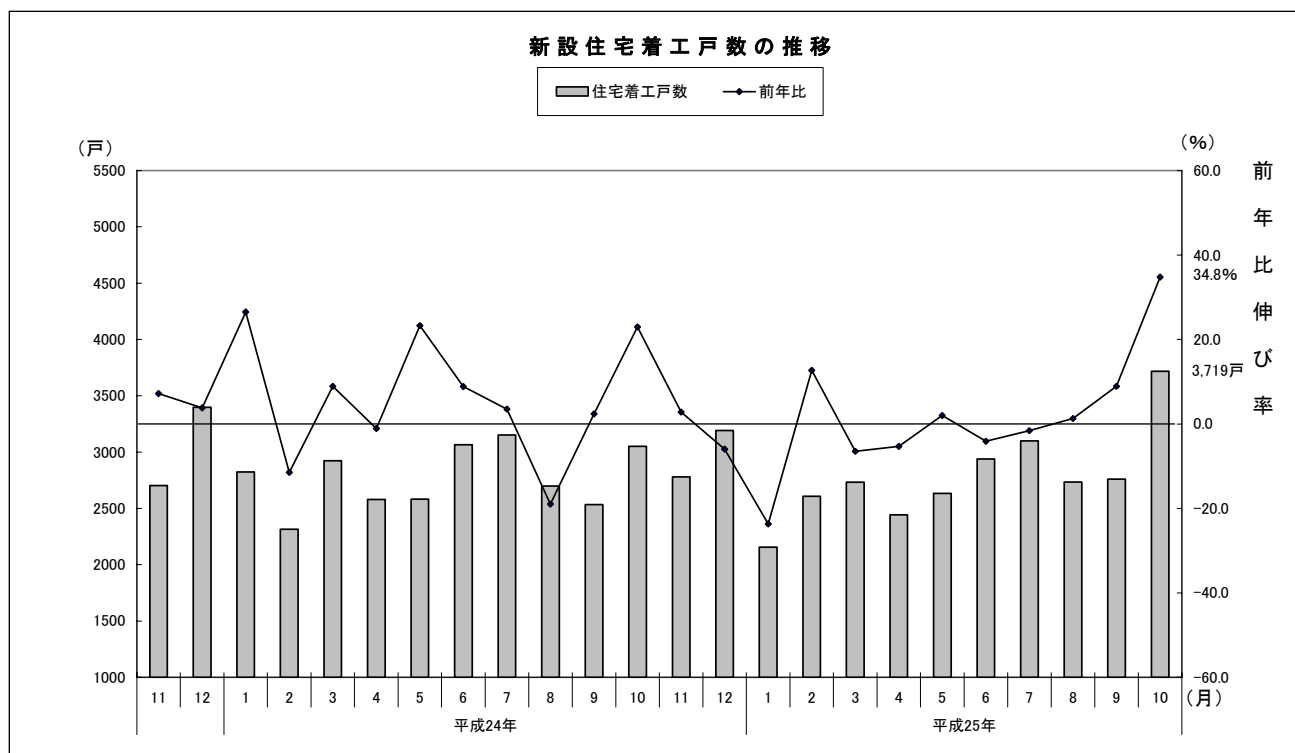
### 10月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	862	518	845	576	127	489	151	44	40	67	3,719
前月比	47.4	-40.7	280.6	75.6	19.8	45.5	4.1	-18.5	60.0	-20.2	34.8

資料：兵庫県住宅計画課

平成25年10月の新設住宅着工累計は、総数で3,719戸、前年同期比668戸の増加となった。利用関係別では「持家」が1,220戸(前年同期比25.6%増)、「貸家」が1,186戸(同5.1%増)、「分譲住宅」が1,302戸(同37.8%増)、「給与住宅」が11戸(同57.1%増)となった。



## 【公共工事】

11月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は586件で前年同月比3.5%の増加、請負金額は313億円で同8.1%の増加となり、金額ベースでは7か月連続して前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市」前年同月比135.3%、「神戸市を除く市町」同40.6%、「兵庫県」同5.1%が増加となり、「国」同▲41.7%、「独立行政法人等」同▲35.5%、「その他団体」は同▲23.7%で減少となり、前年同月を上回った。

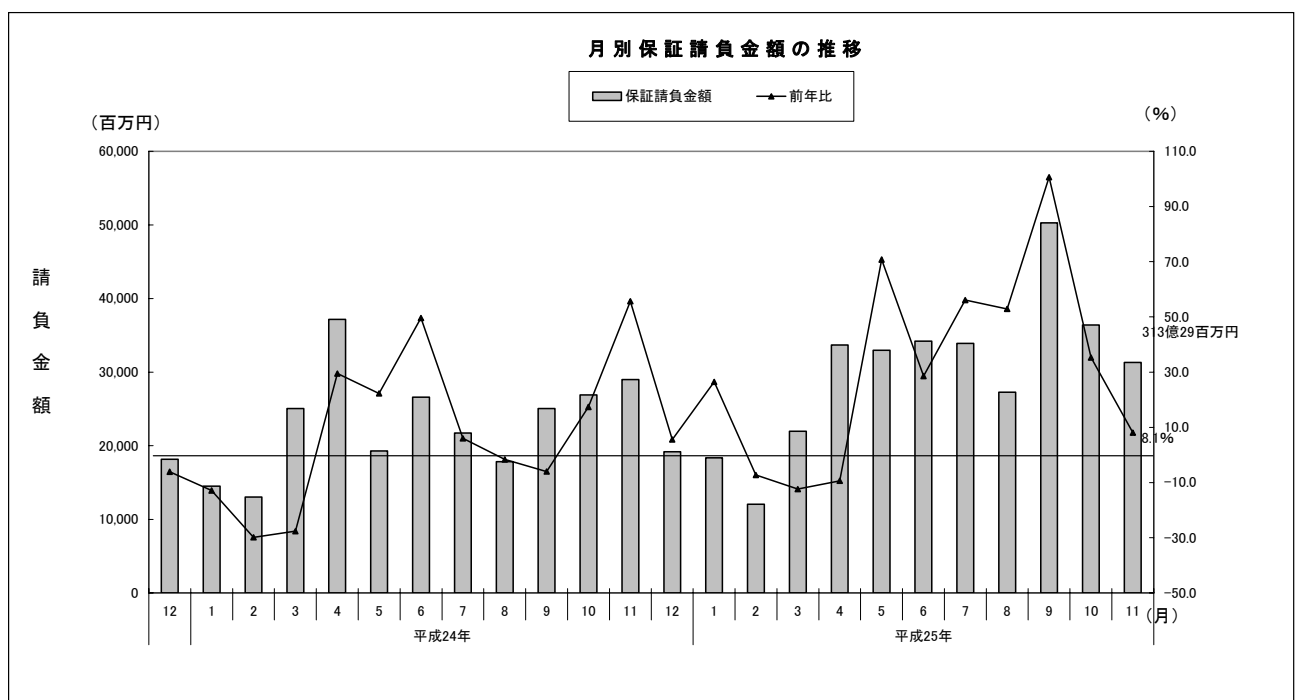
地域別(金額ベース)では、神戸市(同156.9%)、北播磨(同62.0%)、但馬(同56.4%)、西播磨(同14.0%)、阪神南(同6.1%)で増加となり、阪神北(同▲62.7%)、淡路(同▲52.2%)、丹波(同▲42.4%)、東播磨(同▲12.6%)、中播磨(同▲9.1%)で減少となった。

### 11月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	22( 0.0)	1,127( ▲41.7)	
独立行政法人等	16( 14.3)	1,516( ▲35.5)	(仮称)新港島職員寮新築工事
兵庫県	196( ▲5.3)	9,785( 5.1)	(国)178号浜坂道路余部・新桃観トンネル工事 (国)178号浜坂道路大庭トンネル工事 (国)178号浜坂道路久谷第2トンネル工事
神戸市	89( 30.9)	5,066( 135.3)	神戸三田線(有馬口工区)街路築造工事 東灘処理場中央監視設備工事
神戸市を除く市町	227( ▲0.4)	8,156( 40.6)	南あ市公第128号南あわじ市新庁舎建設工事
その他の団体	36( 33.3)	5,677( ▲23.7)	R C6, 7バースコンテナクレーン製作据付工事 起工番号改施第3号本庁舎改修工事
合計	586( 3.5)	31,329( 8.1)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成25年11月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,791億円、前年同月比11.9%の増加で、総額ベースで9か月連続して増額となった。輸出は、金属加工機械などが減少したものの、プラスチックなどが増加した。一方、輸入は、たばこなどが減少したものの、無機化合物などが増加した。

輸出は4,293億円(前年同月比13.0%増)と9か月連続で増加した。

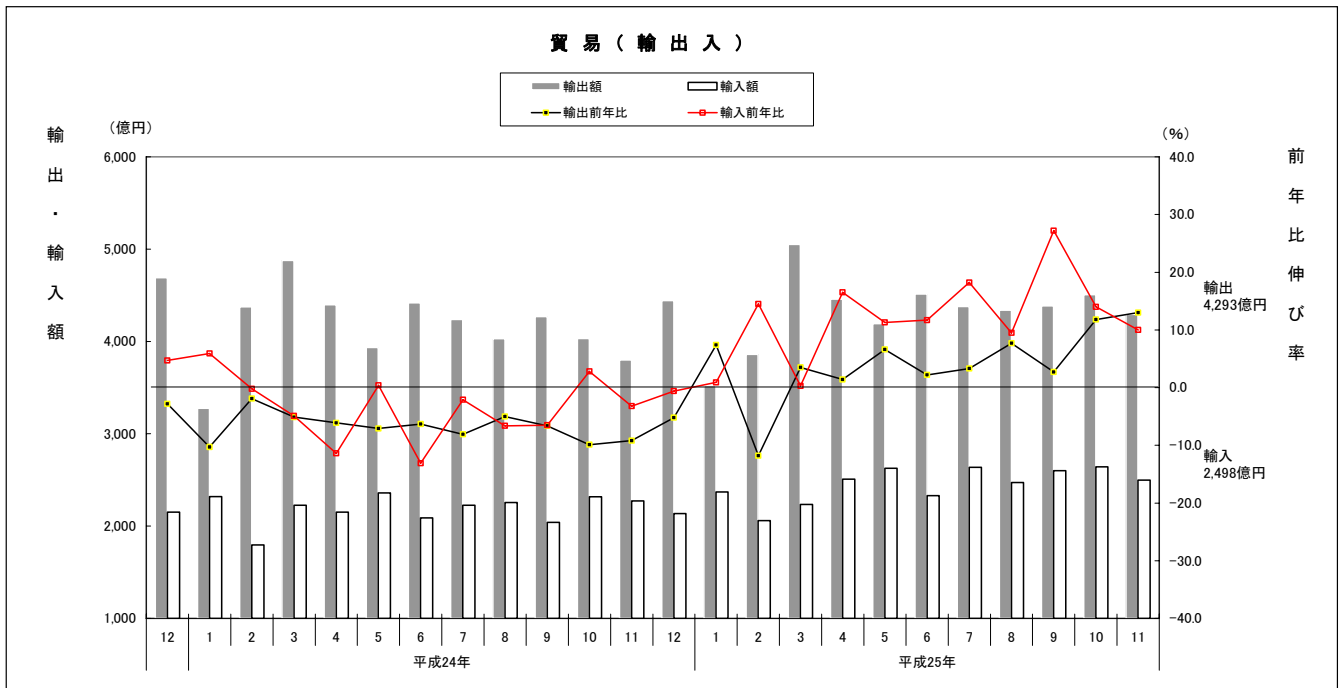
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比41.5%増、2ヶ月連続プラス)、プラスチック(同23.9%増、11か月連続プラス)、原動機(同16.4%増、3か月連続プラス)、織物用糸及び繊維製品(前年同月比10.9%増、9か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、EU(同27.7%増、6か月連続プラス)、米国(同17.6%増、17か月連続プラス)、中国(同17.4%増、5か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同10.1%増、5か月連続プラス)が増加した。

輸入は2,498億円(前年同月比13.0%増)と11か月連続で増加した。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比10.6%増、3か月連続プラス)、衣類および同付属品(前年同月比3.6%増、2か月振りにプラス)、有機化合物(同2.9%増、2か月ぶりにプラス)が増加し、たばこ(同16.1%減、7か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(同29.8%増、8か月連続プラス)、中国(同11.9%増、8か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同9.9%増、8か月連続プラス)、EU(前年同月比6.0%増、12か月連続プラス)が増加した。



## 【物 価】『消費者物価』

11月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.7(平成22年=100)となり、前月比は変わらず、前年同月比は、1.8%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.6となり、前月比は0.2%下落、前年同月比は1.2%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.6となり、前月比は変わらず、前年同月比は0.5%上昇となった。

前月からの動きを見ると、野菜・海藻などの値上がりにより「食料」が0.3%、衣料の値上がりにより「被服及び履物」が0.5%、通信の値上がりにより「交通・通信」が0.1%、身の回り用品の値上がりにより「諸雑費」が0.1%それぞれ上昇した。

しかしながら、教養娯楽サービスの値下がりにより「教養娯楽」が0.4%、ガス代などの値下がりにより「光熱・水道」が0.4%、医薬品・健康保持用摂取品の値下がりにより「保健医療」が0.1%それぞれ下落した結果、総合指数は前月比変わらずとなった。

### 11月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.7	99.0	101.4	115.3	96.5	103.1	97.4	100.4	101.0	94.3	106.1	100.6	99.6
前月比	0.0	0.3	0.0	-0.4	0.0	0.5	-0.1	0.1	0.0	-0.4	0.1	-0.2	0.0
前年同月比	1.8	3.1	-0.5	8.5	1.0	0.1	-0.2	2.2	0.8	0.7	3.6	1.2	0.5

(注)平成22年=100

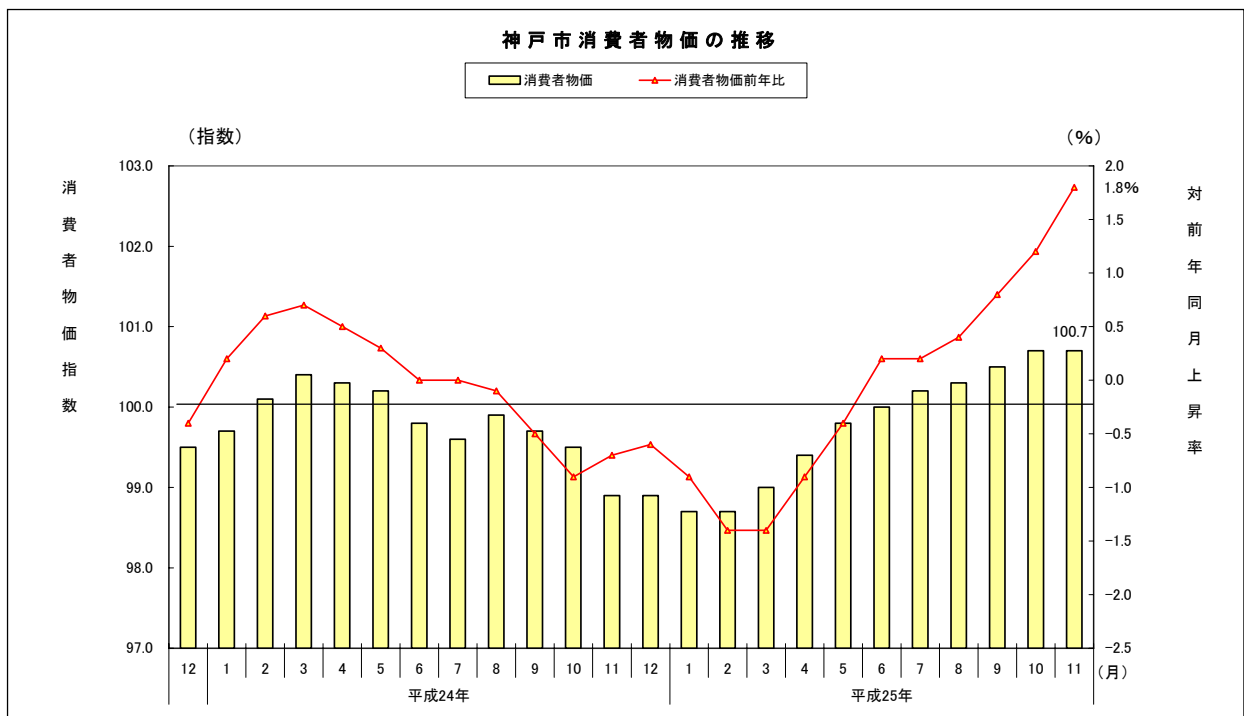
資料：兵庫県統計課

#### ○対前月比値上がりした主な品目

野菜・海藻 (+ 3.0%) ・ ・ ・ しめじ、キャベツ、きゅうり  
衣料 (+ 1.1%) ・ ・ ・ 乳児服

#### ○対前月比値下がりした主な品目

教養娯楽サービス (▲ 1.0%) ・ ・ ・ 外国パック旅行、音楽ダウンロード料  
ガス代 (▲ 0.9%) ・ ・ ・ 都市ガス代



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が12月11日に発表した、企業物価指数(速報)による2013年11月の企業物価指数は次のとおり。

### 11月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	102.6	0.1	2.7
輸 出 物 価	107.8	1.2	12.4
輸 入 物 価	124.5	1.5	16.9

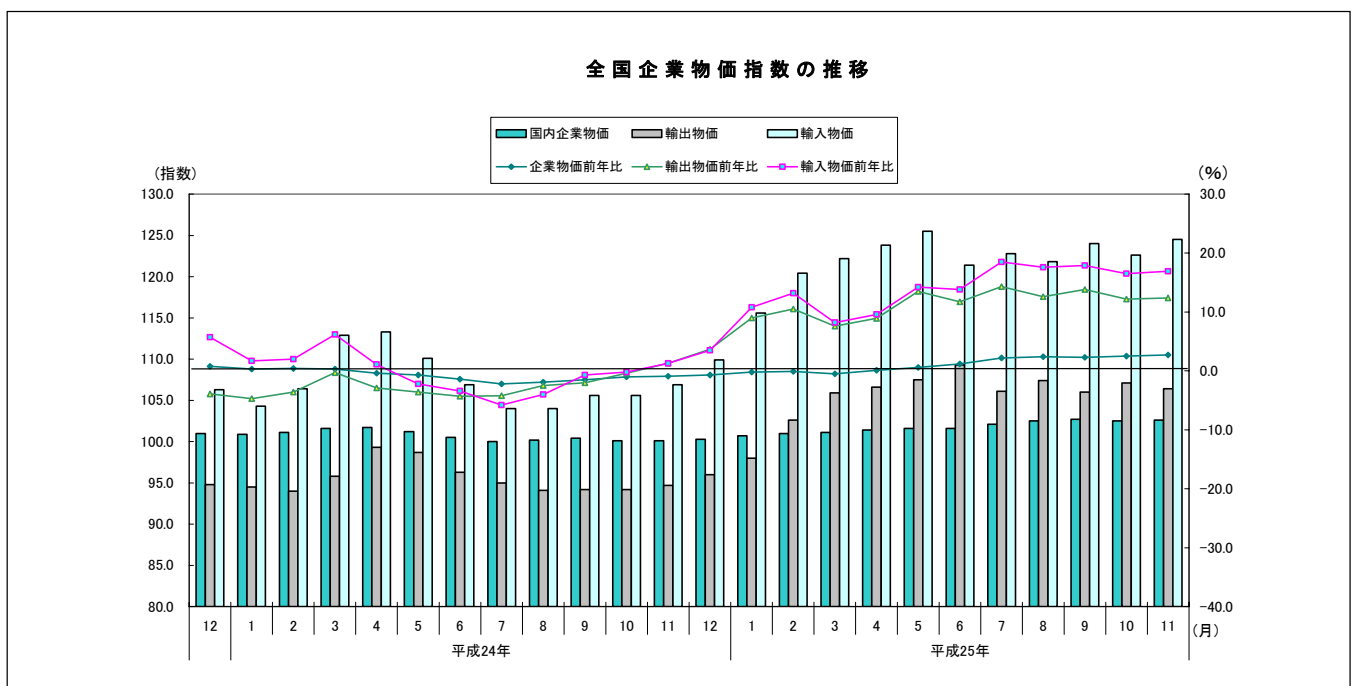
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電力・都市ガス・水道（前月比0.5%＜産業用特別高圧電力など＞）が下落したが、スクラップ類（同+5.5%＜鉄くず＞）、農林水産物（前月比+1.4%＜鶏卵など＞）、鉄鋼（同+0.2%＜小形棒鋼など＞）等が上昇し、全体では前月比0.1%の減少となった。

11月は前年同月比2.7%増の102.6で、2008年10月以来の高い伸びとなった。前年を上回るのは8ヶ月連続。高い伸びとなったのは、円安の影響で、原油や原材料の輸入価格が上がったため。

輸出物価は、金属同製品（前月比1.8%＜鉄くず＞）、輸送用機器（同1.2%＜普通自乗用車など＞）、化学製品（同1.1%＜スチレンモノマーなど＞）、はん用・生産用・業務用機器（同1.1%＜掘さく機など＞）等が上昇し、円ベースでは前月比1.2%の増加（前年同月比+12.4%）となった。

輸入物価は、金属・同製品（同1.7%＜銅鉱など＞）、石油・石炭・天然ガス（同1.5%＜原油など＞）、化学製品（前月比1.4%＜メタノールなど＞）等が上昇し、円ベースでは前月比1.5%の上昇（前年同月比+16.9%）となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内10月の新規求人数(全数)は、30,900人(前年同月比9.4%増)で、4か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は77,234人(同6.3%増)で42か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比10.9%増で4か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同9.6%増で2か月ぶりに前年を上回った。また臨時・季節では同3.7%減で3か月連続して前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比17.0%増)、製造業(同17.7%増)、情報通信業(同4.4%増)、運輸業、郵便業(同17.7%増)、卸売業、小売業(同3.2%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同18.1%増)、医療、福祉(同5.2%増)、サービス業(同9.2%増)は前年を上回り、宿泊業、飲食サービス業(同3.8%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同7.5%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

10月の新規求職申込件数(全数)は、23,298件(前年同月比4.3%減)で、3か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は95,586人(同5.7%減)で41か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比5.4%減で3か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同0.2%減で2か月ぶりに前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比28.8%減で2か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比1.7%増で2ヶ月連続して増加した。事業主都合離職者は同11.0%減で9か月連続、自己都合離職者は同5.3%減で2か月ぶり、自営・他は同8.4%減で29か月連続、無業者は同3.5%減で22か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、25,279人(前年同月比9.7%減)で、9か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

10月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.24倍(前月比0.09ポイント増)で前月を下回り、有効求人倍率については0.77倍(前月比0.01ポイント増)で前月を上回った。

### (4) 失業者の状況

9月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.0%、完全失業者数(原数値)は263万人(前年同月比8万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.7%(前年同月比0.1ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は49万人(前年同月比1万人減)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
25年10月	30,900	2,389	3,865	383	1,746	4,855	176	537	973	2,251	1,041	7,990	3,595
前年同月比	9.4	17.0	17.7	4.4	17.7	3.2	▲6.4	3.7	18.1	▲3.8	▲7.5	10.5	9.2

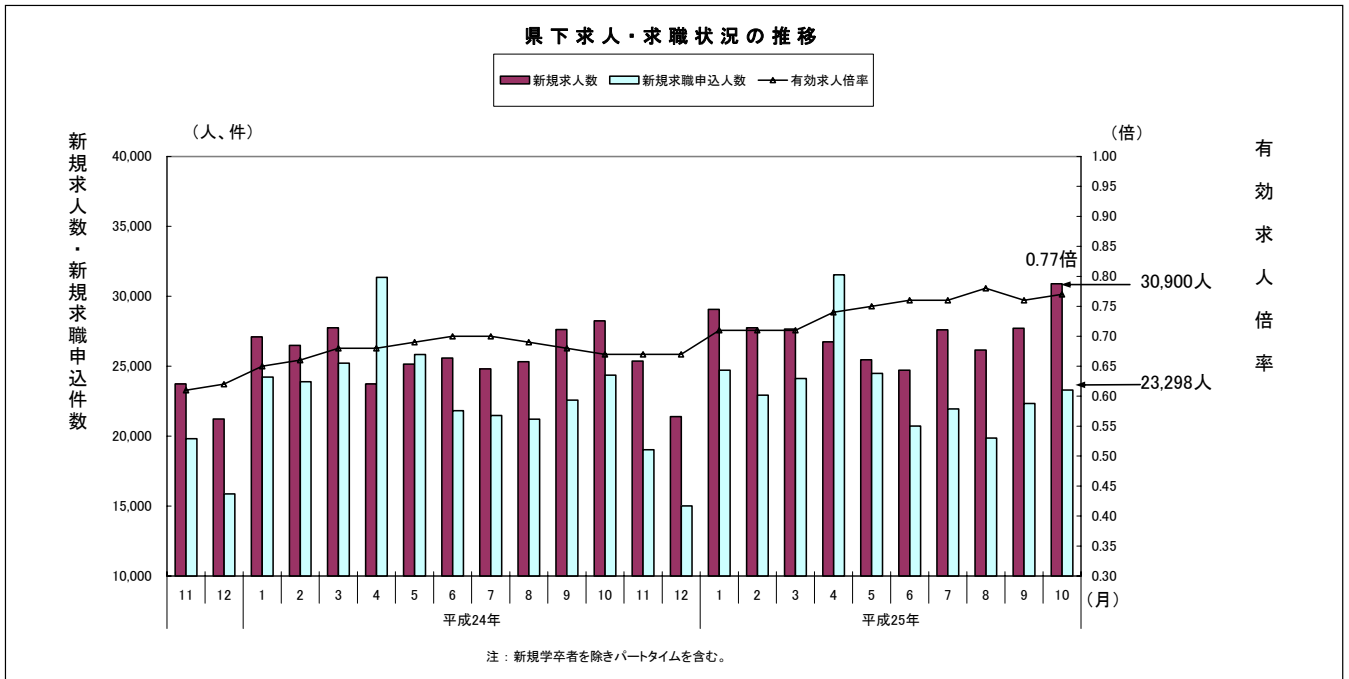
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	12/10-12	13/1-3	13/4-6	13/7-9	13/8	13/9	13/10
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.68	0.71	0.75	0.77	0.78	0.76	0.77
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	5.9	3.8	3.3	4.8	3.3	0.3	9.4
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	▲6.0	▲4.0	▲2.8	1.8	3.2	3.1	6.1
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	▲0.6	▲1.1	▲0.2	▲0.4	▲0.4	▲0.6	0.0
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.0	0.1	0.9	▲1.6	▲1.7	▲0.6	0.0

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部





## 【信用保証】

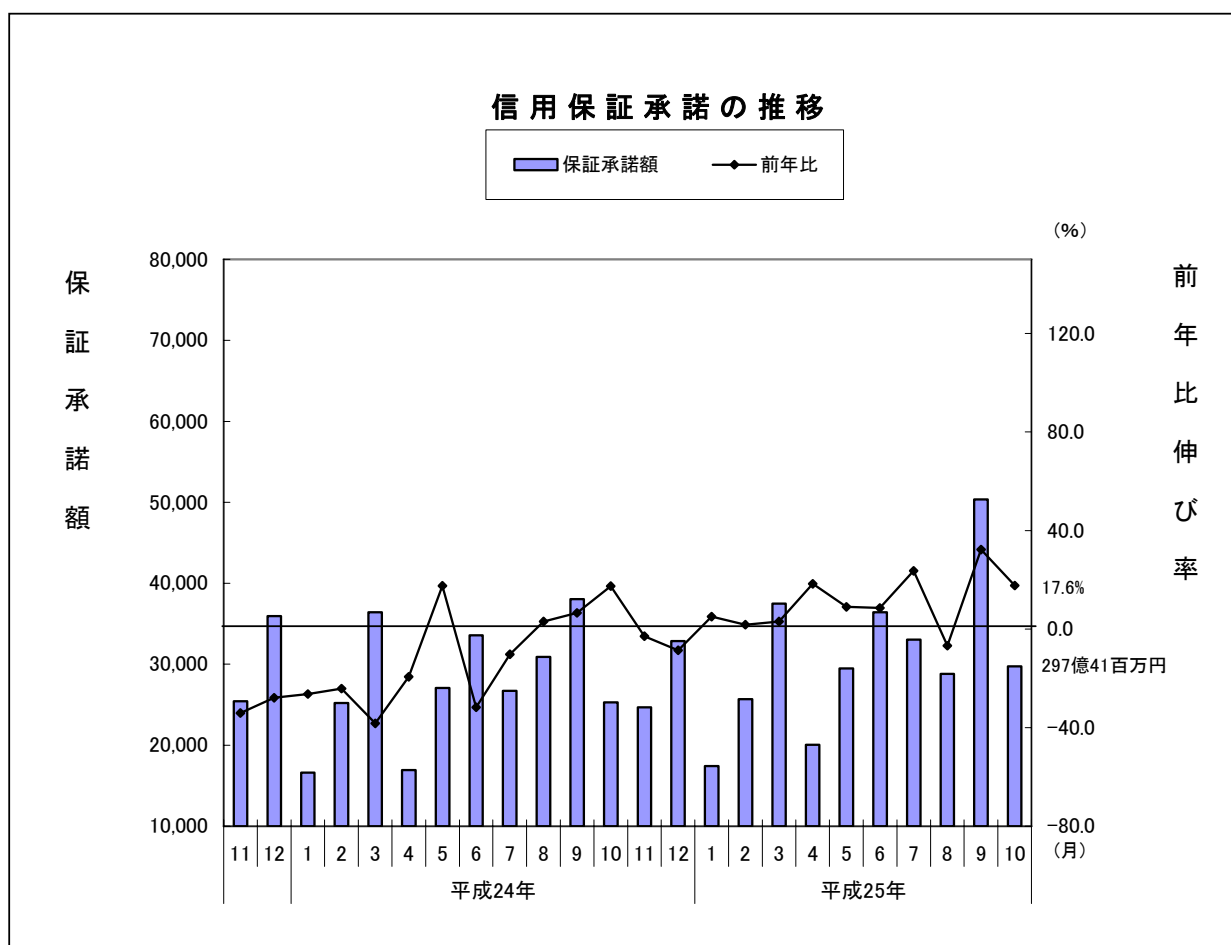
兵庫県信用保証協会による10月の保証承諾実績は、件数で1,848件(前年同月比15.4%増)、金額は297億41百万円(同17.6%増)となり、件数、金額ともに前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金27,209百万円(前年同月比16.7%増)、設備資金588百万円(24.2%増)となり、運転資金、設備資金ともに前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」1,509百万円(前年同月比93.4%)、「飲食店」856百万円(同69.2%増)、「建設業」7,895百万円(同34.4%増)、「小売業」4,308百万円(同32.5%増)、「サービス業」3,713百万円(同27.5%増)、「製造業」4,977百万円(同10.4%増)、で前年同月を上回り、「卸売業」4,761百万円(同14.6%減)、「運送・倉庫業」1,487百万円(同17.3%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、98件(前年同月比47.0%減)、12億15百万円(同31.9%減)となった。

10月末の保証債務残高は、103,002件(前年同月比6.5%減)、1兆1,887億円(同7.4%減)となった。



## 【金 融】

10月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	145,519	2.2	54,484	▲ 1.4
地 方 銀 行	25,066	4.4	21,428	6.2
第 二 地 方 銀 行	32,377	2.4	20,521	4.2
信 用 金 庫	80,429	1.2	37,518	▲ 0.4
そ の 他	17,653	3.2	17,307	1.5
計	301,044	2.2	151,258	1.0

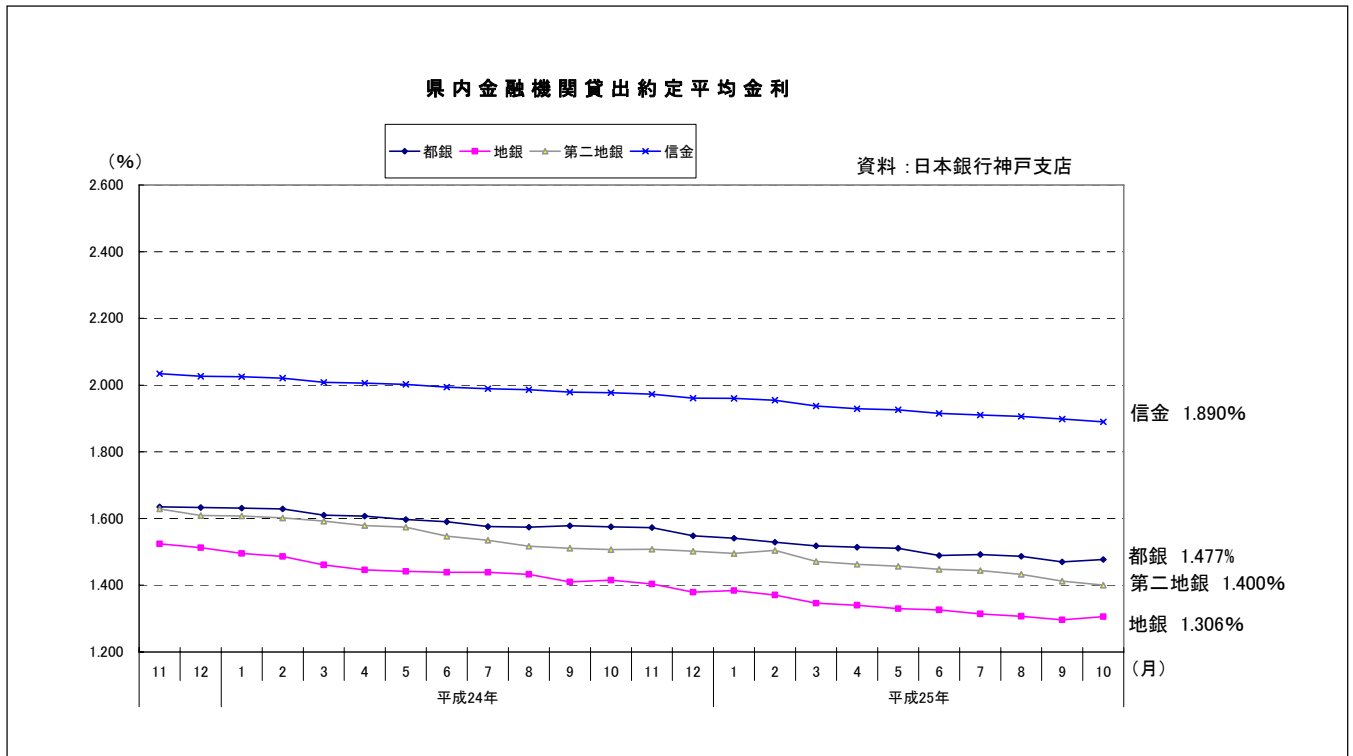
・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

10月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+2.2%)

10月の貸出は、前年並みの水準で推移している。(前年比+1.0%)

10月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(9月末水準 1.582%、前月比▲0.001%ポイント)。



## 【倒 産】

県内 11 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 48 件で前年同月比 4.34%の増加、負債総額は 157 億 61 百万円で同 229.79%の増加となった。

倒産件数は、前月比 1 件 (2.0%) の減少。前年同月比では 2 件 (4.3%) の増加となった。また、11 月単月では、過去 10 年間 (平成 16 年以降) で 2 番目に少ない件数となった (最多は平成 22 年の 73 件)。

負債総額 10 億円以上の大型倒産が本年最多の 4 件発生し、11 月単月では過去 10 年間で 4 番目に大きな金額となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が 30 件(全体の 62.5%)を占めた。

業種別(件数)では、「サービス業他」が 16 件 (前年前月比 3 件増加) でトップであった。

「資本金別」では、「1 千万円未満 (個人企業含)」の件数が 35 件で、当月も小規模事業者の倒産が特徴的であった。

「産業別」では、「サービス業他」が 16 件でトップ、「小売業」が 10 件と続いて多い。

県下の企業倒産は、本年 1 月から 11 月までの累計では 503 件。これは昨年と比較して 63 件の減少となり、過去 10 年間においては最少となっている。中小・零細企業などの倒産抑制に大きな効果を発揮した「中小企業金融円滑化法」は、3 月をもって終了したが、4 月以降件数が前年同月比増加となったのは 5 月、9 月、11 月の 3 回のみ。同法終了後も金融機関の貸し出し姿勢に大きな変化はなく、加えて事業再生を柱とする多様な中小企業支援策等が倒産抑制に寄与していると見られる。従って、企業倒産件数は小幅な増減を繰り返しつつも、基調として今しばらくは大きな変動なく推移するものとする。

11 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	12	6	6	4	8	建設業	6	16	-10	10	-4
過小資本	1	5	-4	0	1	製造業	5	6	-1	7	-2
連鎖倒産	4	1	3	3	1	卸売業	7	8	-1	2	5
赤字累積	2	7	-5	7	-5	小売業	10	7	3	5	5
販売不振	28	30	-2	30	-2	情報通信業	1	0	1	3	-2
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	16	10	6	13	3
その他	1	0	1	2	-1	不動産・運輸業他	3	2	1	6	-3
合計	48	49	-1	52	2	合計	48	49	-1	46	2

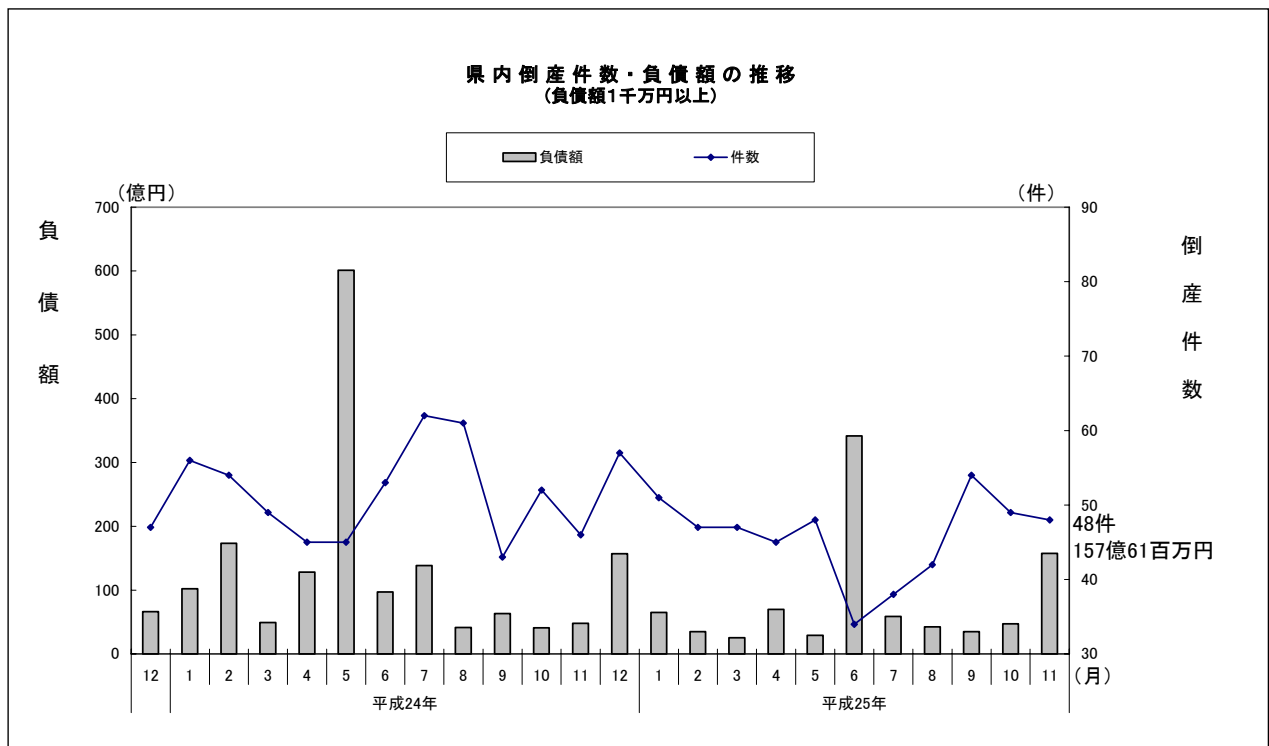
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位：件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1
25年 6月	34	9	9	6	9	1	0	0
25年 7月	38	17	7	7	4	2	0	1
25年 8月	42	14	14	7	6	1	0	0
25年 9月	54	19	10	11	9	3	1	1
25年 10月	49	17	11	11	4	3	2	1
25年 11月	48	20	15	3	8	0	0	2

資料：東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
24年 1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
8月	91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
9月	93.6	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
10月	86.7	-7.5	87.9	1.6	269	17.4	28.2	3,051	23.0	25.2
11月	84.5	-2.4	86.4	-1.7	290	55.7	6.2	2,780	2.8	10.3
12月	88.3	4.4	88.8	2.4	192	5.6	15.6	3,193	-6.0	10.0
25年 1月	86.2	0.3	89.1	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	86.9	-1.3	89.6	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	90.3	3.2	90.4	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月	89.2	-0.8	91.9	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
5月	88.2	-0.9	97.7	1.9	329	70.8	24.8	2,632	2.0	14.5
6月	89.8	1.1	94.7	-3.1	342	28.6	21.7	2,939	11.7	15.3
7月	93.1	3.3	97.9	3.4	339	56.1	29.4	3,100	5.5	12.0
8月	88.2	-5.5	97.0	-0.9	272	52.9	7.9	2,735	-11.8	8.8
9月	91.3	3.5	98.3	1.3	502	100.6	29.4	2,759	8.9	19.4
10月	93.5	2.0	99.3	1.0	364	35.3	3.5	3,719	34.8	7.1
11月					313	8.1	4.9			
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
24年 1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	4,032	-5.0	2,256	-6.6
9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	4,271	-6.6	2,041	-6.5
10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2	-2.2	4,032	-9.9	2,318	2.8
11月	12,576	-3.9	0.2	185	4.2	2.5	3,800	-9.2	2,271	-3.2
12月	11,342	-2.3	-2.0	258	0.3	-1.0	4,444	-5.2	2,137	-0.6
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,372	0.9
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,861	-11.7	2,058	14.6
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	5,051	3.5	2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	4,459	1.4	2,509	16.6
5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5	2.8	4,194	6.6	2,627	11.3
6月	15,343	-9.2	-12.5	165	1.1	7.5	4,515	2.2	2,331	11.7
7月	15,195	-7.3	-9.7	155	-7.8	-2.2	4,379	3.3	2,638	18.2
8月	11,926	1.4	-1.6	145	-3.6	3.0	4,341	7.7	2,473	9.5
9月	17,366	14.1	18.1	144	-1.4	3.0	4,382	2.6	2,600	27.3
10月	13,869	21.2	18.4	158	-5.8	-0.4	4,506	111.8	2,642	14.0
11月	14,661	22.0	16.7	183	-0.9		4,293	13.0	2,498	10.0
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	99.7	-0.5	99.6	-0.3
10月	0.67	0.80	1,047	4.2	99.3	-0.6	99.5	-0.9	99.6	-0.4
11月	0.67	0.80	1,048	4.0	99.8	-1.6	98.9	-0.7	99.2	-0.2
12月	0.67	0.82	1,048	4.0	100.4	0.5	98.9	-0.6	99.3	-0.1
25年 1月	0.71	0.85	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	99.3	-1.0	99.7	-0.7
5月	0.76	0.92	1,047	-0.3	100.7	1.9	99.9	-0.3	99.8	-0.3
6月	0.76	0.92	1,051	0.0	101.1	0.9	100.0	0.2	99.8	0.2
7月	0.76	0.94	1,053	0.0	100.4	0.4	100.1	0.5	100.0	0.7
8月	0.78	0.95	1,050	0.0	100.0	0.4	100.2	0.3	100.3	0.9
9月	0.76	0.95	1,046	-0.5	100.2	0.9	100.5	0.7	100.6	1.1
10月	0.77	0.98	1,048	0.1	100.8	1.5	100.7	1.2	100.7	1.1
11月							100.7	1.8		
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.4	-0.7	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.0	-0.9	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.4	-1.5	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	99.9	-2.3	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.1	-2.0	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	100.0	-1.1	149,833	0.1	1.383	52	41	22	11	19
11月	99.9	-1.1	150,053	0.0	1.378	46	48	12	17	17
12月	100.3	-0.7	151,415	-0.1	1.364	57	157	11	19	27
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	101.6	0.6	150,286	0.0	1.319	48	29	19	20	9
6月	101.6	1.2	151,520	0.6	1.303	34	341	9	9	16
7月	102.2	2.2	150,656	0.1	1.296	38	58	17	7	14
8月	102.4	2.3	151,104	0.6	1.291	42	42	14	14	14
9月	102.6	2.2	152,378	0.4	1.291	54	34	19	10	35
10月	102.5	2.5	151,258	1.0	1.277	49	47	17	11	21
11月	102.6	2.7				48	157	20	15	13
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値